

このメールマガジンは今年度最後の配信となります。
高校入試に関しては、先月、第1回志願者予備調査の結果が発表されましたが、
年明けには第2回志願者予備調査があります。そして、その後すぐに前期選抜の
出願受付と続きます。
公立高校ガイドブック、前期選抜入試に必要な志願理由書、平成26年度宮城県
公立高等学校入学者選抜一覧などの情報は、上記の高校教育課のページを御覧ください。

<それぞれの公立高校ホームページはこちらから>
⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyouiku/koukou.html>

■ もくじ ■

- 1 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）
 - (1) 白石工業高等学校
<クラフトマン21事業を活用した熟練技能講習会について>
- 2 学校紹介スペシャル（各高等学校からの情報）
 - (1) 名取北高等学校
<文化部の生徒たちの活躍について>
 - (2) 宮城広瀬高等学校
<学校紹介>
 - (3) 泉高等学校
<本校独自 「研修旅行」>
 - (4) 古川黎明中学校・高等学校
<川島隆太先生講演会、新校舎落成記念式典・川口淳一郎先生講演会>
 - (5) 貞山高等学校
<みやぎの志「社会講話会」を実施しました>
 - (6) 石巻西高等学校
<学校紹介>
- 3 コラム（各高等学校からの情報）
 - (1) 鹿島台商業高等学校
<商業高校だからこそ体験できること>
 - (2) 水産高等学校 教諭 若松英治
<海の生物＝獲り放題！？>
 - (3) 松島高等学校
<平成26年度より観光科が新設になります！>
- 4 お知らせ
 - (1) 仙台向山高等学校
<校訓、校章、行事を御紹介します！>

5 編集後記

■ 1 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

- (1) 白石工業高等学校
| <クラフトマン21事業を活用した熟練技能講習会について>
-

設備工業科では、ここ6年間の間、設備工事関係の企業や団体をお願いして、熟練技術や技能を持った方に、直接御指導いただく熟練技能講習会を開催してきました。

初年度と2年目は、宮城県ダクト工事業会の会長である伸栄工業株式会社社長の高橋文夫様はじめ従業員の方々からダクト加工技術を教えていただきました。3年目と4年目は、地元白石市の株式会社エコー設備工業工事部係長の武田朝生様を中心にして、3級配管技能士の実技試験の課題を詳しく教えていただきました。5年目と6年目の今年、『冷凍空気調和機器施工(冷凍空気調和機器施工作業)』の3級技能検定の実技試験を題材に、宮城県冷凍空調設備工業会副理事長岡本豊様、同顧問我妻博様をはじめ工業会の方々より冷凍機の仕組み、冷凍空調業界の現状、2級技能検定資格などの講義、冷凍技術機器の実技指導としてエアコンなどの冷媒配管、配線、気密テスト、試運転などを実践指導していただきました。その効果としては、講習会に実技作業が多く盛り込まれており、学校の実習では得られない内容で生徒達に興味を抱かせられたことでした。また熟練技能者の生の声を聞くことにより、資格取得に対する意欲や進路を考えさせるきっかけになりました。今後も、設備工業界の御協力をいただきながら、生徒がものづくりに興味関心を抱き、達成感が得られるような講習会を進めていきたいと考えています。

■ 2 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体を詳しく紹介するスペシャルコーナーです。

- (1) 名取北高等学校
| <文化部の生徒たちの活躍について>
-

名取北高等学校では、文武両道を掲げ、日々生徒たちが充実した学校生活に向けて取り組んでいます。今回は特に文化部の活動を紹介します。まず、演劇部が、去年に続き東北大会出場が決定しました。11月16日～17日に開催された第51回宮城県高等学校演劇コンクールにおいて、オリジナル脚本の「鼻と糸トノボ」により最優秀賞・NHK賞を受賞し、去年に続き東北大会出場を決めました。上演が終わった後、拍手が鳴り止まず素晴らしいとの評価を得ました。今年の東北大会は、会場が仙台市広瀬文化センター、本校の作品は12月22日(日)午後1時より上演されます。来年度の全国大会出場に向け大いに期待されています。昨年度は東北大会最優秀賞に輝き今夏の全国大会に出場しましたが、その時の模様と練習風景はNHK Eテレの「青春舞台」で大きく取り上げられました。次に、家庭クラブが10月24日(木)に開催された県高校家庭クラブ連盟研究発表大会において、「噛むことの大切さ」を主題とした研究発表で県最優秀賞を受賞しました。12月13日(金)に福島県で行われる東北大会に出場します。今回、文化部の活動報告になりました。運動部はこれから新人戦が始まるものがあります。今後とも、生徒たちの活躍に御声援をお願いいたします。

- (2) 宮城広瀬高等学校
| <学校紹介>

1 本校の施設が新しくなりました。

本校の諸施設の移設工事が終了しました。プール・武道館・弓道場・テニスコート（オムニコート）・部室棟・食堂・駐輪場などが新しいものに生まれ変わりました。特に、弓道場、テニスコートは県内の県立高校として最高の施設であると思います。

2 ボランティア活動に対する取組を紹介します。

本校の教育課程では、年間を通じて一定時間のボランティア活動に取り組んだ生徒に対して、学校設定教科「社会体験」の科目「ボランティア活動」としての単位認定を行っています。4月に説明会を行い、「ボランティア手帳」を交付して、生徒が活動を記録していきます。学年末に「ボランティア手帳」を提出し、諸条件を満たしていれば、会議を経て単位認定（例年は30名前後）ということになります。1年間で修得できるのは2単位まで、3年間では6単位まで修得できます。主な活動内容としては隣接の「県立こども病院」とその関連施設である「ドナルド・マクドナルド・ハウス」や近隣の「老人ホーム」などへの訪問、「落合市民センター祭り」、「仙台青葉まつり」、「みちのくYOSAKOIまつり」、「仙台七夕花火祭ボランティア」、「盲導犬育成募金」、「あしなが募金」、児童を対象とした「読み聞かせボランティア」などがあり、多岐にわたります。

→<ホームページはこちら> <http://hirose-h.myswan.ne.jp/>

□ (3) 泉高等学校

<本校独自「研修旅行」>

先日11月27日（水）～29日（金）に本校として2回目となる研修旅行が2年生により実施されました。これは従来の集団での修学旅行から、クラスでの小回りのきくサイズにすることにより、生徒たちの企画が生き、クラスのまとまりや、生徒たちの興味関心により対応した内容となるようリニューアルをしたものです。

研修旅行は、各自が「クラス研修」、「進路研修」、「文化芸術研修」の3つの研修を柱に、クラスや班別に自由に行程を立案計画できる、生徒の裁量と主体性が重んじられています。旅行の報告としては、12月18日（水）に1・2年生合同の発表会が開かれ、クラスの代表が1年生に報告のプレゼンテーションを行います。

今回の旅行の様子、昨年度の旅行や報告会の様子は、本校ホームページの「泉高ダイアリー」でアップされていますので、併せて御覧ください。

<わしくはこちら> <http://www.izumihigh.myswan.ne.jp/index.html>

□ (4) 古川黎明中学校・高等学校

<川島隆太先生講演会、新校舎落成記念式典・川口淳一郎先生講演会>

去る10月22日、脳トレで有名な東北大学加齢医学研究所の川島隆太教授の講演会を県指定の「親になるための教育推進事業」の一つの事業として本校アリーナで行いました。「将来の可能性を広げるための脳の鍛え方」と題しての講演を中高生全員で聞きました。ユーモアを交えた楽しい話を聞かせていただいただけでなく、ステージ上で川島先生の司会のもと中1から高3まで各学年1名の代表によるパネルディスカッションも行いました。話題は多岐に渡り時間を忘れて白熱した議論になりました。

また、10月25日には、多数の御来賓の方々にお越しいただき、新校舎落成記念式典を盛大に行いました。更に、記念講演として、日本を代表する宇宙工学者である宇宙航空研究開発機構(JAXA)の川口淳一郎先生にお話をいただきました。先生は数々の科学衛星ミッションに携わっており、特に小惑星探査機「はやぶさ」ではプロジェクトマネージャーとして活躍されています。これについてはいくつかの映画にもなりました。先生の話は、絶妙なトークの連続のなかにも物事に静かに立ち向かうチャレンジ精神の持ち方についての示唆的なお話が満載で、勇気と元気をいただくことができました。

<ホームページはこちら> <http://www.freimei-j.myswan.ne.jp/>（中学校）

<http://www.freimei-h.myswan.ne.jp/>（高等学校）

□ (5) 貞山高等学校
| <みやぎの志「社会人講話」を実施しました>

11月6日(水)3・4校時に全年次を対象としたみやぎの志「社会人講話」を実施しました。講師は、リアライズコンサルティングCEO海老根修(エビネオサム)先生でした。自分の体験を中心にした講話内容と軽快な話しぶりに会場全体が引き込まれていました。

主な講話内容としては、

- ◆ 仕事を選ぶ時には、現時点の自分の現状や状態で判断しない。
 - ◆ 成績やお金で仕事が決まるのではなく、やる気で決まる。まずは、どうなりたいかを「決めること」が大事。
 - ◆ 3つの勇気を持って！
①理解する勇気 ②始める勇気 ③続ける勇気
- 以上の内容でしたが、将来の仕事や職業について考えるヒントを得られました。

→<ホームページはこちら> <http://teizan.myswan.ne.jp/>

□ (6) 石巻西高等学校
| <学校紹介>

石巻西高校の紹介をします。我が校は、校舎周辺に田んぼが広がり、校門を入っ

てすぐに校木である「百合の木」があります。校地内には多くの植物が植えられており、緑に囲まれています。また、校舎には天文台もあり施設設備が整っています。石巻西高校には年間を通して大きな行事が3つあります。それは、西翔祭・体育祭・マラソン大会です。これらは創立から続いている行事です。また、本校では国際理解教育と防災教育に力を入れており、国際理解教育では、年に何度か外国の方々をお呼びして交流の時間を設けています。防災教育では、他県の小中高の学校と「災間を生きる」のテーマでワークショップなどをして交流を深めています。また、本校では防災マニュアルを載せた防災カレンダーを作成し、全ての家庭に配布しています。

部活動では、どの部活動も顧問の先生方の指導のもと、活発に取り組んでいます。過去には弓道女子団体で全国2位という実績があり、空手道部なども県大会で何度も優勝しインターハイに出場しています。特に、今年度は、弓道部男子団体と空手道女子個人形の選手が県総体で優勝し、インターハイ出場を勝ち取りました。

西高生は勉強も手を抜きません。昼休みに校長先生から古典や英単語の指導を受けたり、進路目標達成に向けて、看護や公務員の勉強会をしたりと一生懸命取り組んで「一つ上」を目指していきます。このように学習環境が整った石巻西高校は、あなたの進路目標の達成と夢の実現の後押しをするのに最適な学校でしょう。

→<関連HPはこちら><http://www.inisi.myswan.ne.jp/>

■ 3 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ (1) 鹿島台商業高等学校
| <商業高校だからこそ体験できること>

本校は大崎地域唯一の商業高校です。今回は、本校の商業高校らしい行事をいくつかご紹介いたします。

まずは販売実習です。1年生の生徒が10月17日にイオン古川店で店頭販売をしました。販売した商品は、宮城県内の高校で企業と共同開発して商品化したものです。ゆべし、ポテトチップス、グミ、くじらの缶詰……。本校のオリジナル商品は残念ながら今はありません。東日本大震災で製造中止になってしまいました。

現在授業で新商品を開発中です。以下は参加した生徒の感想です。「全部売り切った時は本当にうれしかったです」、「商品をお客様に勧められたので、頑張れました」、「大きな声を出したらお客様が多くなりました」、「商品の説明が難しかったです」、「もっと売りたいかった」等々。いい経験になりました。

ほかに、2年生全員が3日間の就業体験をします。また、一般の方々を対象として実施している学校開放講座では、コンピュータ部の生徒が講師を務めています。先生の体験は高校生ではなかなかできませんよね！
さらに詳しいことはホームページを御覧ください。

→ <ホームページはこちら> <http://www.kasimadai-ch.myswan.ne.jp>

□ (2) 水産高等学校 教諭 若松英治
<海の生物＝獲り放題！？>

何十年も前に日本近海では、“数の子”でお馴染みの「鯨（ニシン）」が乱獲（計画性もなくむやみに獲り続けること）されることによって獲れなくなりました。また、数年前、幻となっていた秋田名物の「鱒（ハタハタ）」が、手厚い保護を何年も続けた結果、獲れるようになったという話もありました。そして今、クロマグロが激減し、「絶滅の危機」とまで言われています。

海に生息している生物を獲って市場で売れば収入になります。しかし一方で、海の生物の自然に増える数以上に獲ってしまえば生物は減ることになります。つまり、“獲って売ること”と“資源（魚介類）の数”は、相対的なもので、どちらかが増えれば当然どちらかが減ることになります。昨今では、この両者のバランスを考えて漁をすることが重要視されています（これを資源管理といいます）。

さて、話は10年ほど前にさかのぼります。当時中国では北京オリンピックも控え、空前の好景気に沸いていました。その余波で中国国内では、高級食材とされる「干しナマコ」を多くの方が食すようになり、ナマコの需要が急激に伸びました。日本においてナマコはよく正月に食べられるため、年末に向けて高値になるものですが、中国の需要によって年中年末のような高値で取引されました。それは石巻地域にも少なからず影響を与え、地域の人々は、たくさんのナマコを獲ろうと意識するようになりました。

当のナマコにとっては迷惑な話で、普段から「じーっ」としている訳ですから、獲られるときに逃げるわけでもありません。漁業者としては獲れば収入になるわけですから、どんどん獲り続けたわけです。その結果、瞬く間にナマコがいなくなり、気付いたときにはもうほとんどナマコが海から消えてしまっていました。その頃から県内のいろいろなところから本校の「栽培漁業類型」に相談が相次ぎました。

栽培漁業類型では、実習場が万石浦に面したところに建てられた平成元年から、地元の産物であるナマコに着目して、人工的に受精し、稚ナマコを海に放流してきていました。よく世間では、じゃあ、どこか違う海で育ったナマコを持ってきて放せば（移入すれば）良いのではないか！？などと考えがちですが、それは地元の海の生態系を崩してしまう可能性があります。ですから、元々いたナマコの生命力を信じ、あくまでも地元のナマコを増やす方法にこだわりました。

そこで、“ナマコの種（たね）を確保し、それを一定の大きさまで育て放流する”一言でいえば「ナマコの人工採苗（さいびょう）」という手法が確立されました。後にこの研究の成果である「種の採り方」、「種の育て方」、「獲る量と育てる量のバランスを意識すること」は、しだいに地元にも広がりました。

今日では、もう「ナマコがいなくなった、どうしよう！？」などという話はないようですが“獲る量と自然に生まれて増える量のバランス＝資源管理”を意識しながら漁をするということは忘れてはいけません。

来年度、栽培漁業類型は「生物環境類型」と名称を変更しますが、養殖はもちろんのこと、海そのものや海に生息する生物たちの環境についての研究に加え、“6次産業化”という新たな取組にも挑戦していきます！！“獲る漁業”も大切ですが、「生物環境類型」で学ぶ“育てて獲る漁業”にも注目です！

<海に関わる研究が行われている宮水のHPはコチラ>

→<http://webmail.miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

- (3) 松島高等学校
〈平成26年度より観光科が新設になります！〉

『観光科』とは、どのような学科なのか？疑問に思われている方もいるかと思いますが、そこで『観光科』についてお知らせしたいと思います。

『観光科』は観光産業に就職するための学科ではありません。結果として観光産業への就職もありますが、「観光」を学習素材として、社会に出るための、より実践的な心構えと能力を身につけるための学科です。

『観光科』が目指すものは二つあります。

一つ目は「コミュニケーション能力を高める」ことです。今の高校生は、人と直接関わりを持つ時間よりも、何か便利なツールを使用してコミュニケーションをとる時間が多くなってきているようです。それだけで良いはずがありません。社会では何かにつけ人と接する時間があります。それも特定の人とだけではなく、老若男女あるいは職種など様々な方々と関わりを持つこととなります。そのために何が必要なのか？学校という狭い枠を超えて、さまざまな体験活動や実習を設定していきたいと考えています。

二つ目は「おもてなしの心」を学ぶことです。一つ目の目標であるコミュニケーション能力の育成に加えて、さらに、相手の立場になって物事を考え、実践していく心と技能を育んでいきたいと考えています。

社会という大きな人と人との関わりの中で、ほかの誰かのために何かを実践できる人、他者に貢献できる人、他者から望まれる人の育成を目指して、『観光科』がスタートします。

→〈くわしくはこちら〉 <http://www.matsushima-h.myswan.ne.jp/>

■ 4 お知らせ ■

- (1) 仙台向山高等学校
〈校訓，校章，行事を御紹介します！〉

○校訓・・・「自律・和敬」

自己の言動に責任を持ち、何事にも自ら進んで取り組む行動力と、お互いを思いやり協力する心の豊かさを育むことが目標です。

○校章・・・カタカナの「ム」

校名の「向山」を図案化したもの。中央の緑を白で囲んだ色調は青少年の純粋性をあらわし、その形は心身の安定と調和を保ちながら、はるかな理想をめざし無限に向上しようとする本校生徒の意欲を示したものです。シンプルなこの校章は本校生徒に愛されており、様々な行事で登場します。

○一人一人が主役の学校行事

- ・中庭コンサート(4・10月)：有志参加団体を募り、歌、バンド、パフォーマンス、ダンスなどで盛り上がります。
- ・校内体育大会(7月上旬)：球技や運動会種目で2日間に渡って行われます。
- ・向陵祭(9月上旬)：2日間で行われる学校最大の行事です。参加団体ごとに作る「PRビデオ」が大好評です。
- ・強歩大会(10月中旬)：秋の一大イベント。28kmをひたすら歩きます。ゴール時の達成感は何物にも代え難いと言われています。
- ・修学旅行(11月下旬)：高校生活最大の行事。今年は関西方面へ行きました。

○お知らせ

中学1年生・2年生の皆さんがぞくぞくと学校見学に来ています。どうぞ中学校の先生を通して気軽にお問い合わせください。

〈ホームページはこちら〉 <http://mukaiyama.myswan.ne.jp/>

■ 5 編集後記 ■

高校教育課 情報メール 2013.12.17(vol.45).txt

今年度最後のメールマガジンとなりました。

5月から8ヶ月にわたり、さまざまな情報をお届けして参りました。県内の公立高校において、どのような教育活動が展開されているのか、少しは伝わったものと思います。

みなさんが高校に関して疑問に思うようなことがあれば、中学校の先生をとおし各高校に問い合わせてください。

受験生のみなさんの希望が叶いますようお祈りします。

一年間お付き合いいただき、ありがとうございました。

来年度も各高校の様々な情報をできる限りお伝えしたいと考えておりますので、「高校教育課 情報メール」をよろしく願います！

◇◇◇高校教育課 情報メール（メールマガジン）◇◇◇

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626/FAX：022-211-3696
